

実践『ペルソナ』通信 (No. 96)

「通学用バッグ」に関する調査

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「通学用バッグ」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

はじめに

大学生は授業に必要なものや身だしなみを整えるツールを持ち歩くため、「通学用バッグ」（以下、バッグ）が欠かせません。また、おしゃれに制限がない分、バッグに個性が出るのではないかと考えました。そこで今回の調査では、イマドキの女子大生の「バッグ」について、調べていきます。

総括

今回の調査を通して、実践女子大学生は通学用バッグとしてトートバッグを使っている人が多く、バッグの購入の際には内容量やデザインが重視されることがわかりました。普段リュックを使っている人はサブバッグとしてトートバッグを、トートバッグを利用している人はサブバッグとして紙袋を使っている人が多いという傾向がわかりました。バッグの色はリュックでは黒、トートバッグでは白または黒という人が多く、バッグよりも洋服で個性を表すという人が多いことから、洋服に合わせやすい無難な色のものが選ばれることがわかりました。

Topics

- (1) 最も使われる種類はトートバッグ
- (2) バッグとサブバッグの種類の関連性
- (3) バッグの種類と色の関連性
- (4) バッグ購入の際には内容量、デザインを重視
- (5) バッグの種類と値段
- (6) バッグを変える人の特性
- (7) PC をもっていない人は約6割

調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 菅原七菜、立石朋子、松浦彩里、和氣なつみ

調査概要

- 調査対象：実践女子大生 1 ～4 年生
- 調査方法：Google フォームによるインターネット調査
- 調査期間：2020年6月18日（木）～6月20日（土）
- 有効回答者数：99名
- 回答者の属性：1年生（6.1%）、2年生（29.3%）、3年生（50.5%）、4年生（14.1%）

調査結果

(1) 最も使われるバッグはトートバッグ

学校へ通う際に最も使っているバッグは、「トートバッグ」が最も多く 54.5%、次いで「リュック」が 39.4%でした。「ショルダーバッグ」は 6.1%と、トートバッグの利用が最も高いことがわかりました（図1）。

それに関連して、学校へ通う際にサブバッグを利用経験の有無について調査したところ、「使ったことがある」と答えた割合が全体の 50.5%、「使ったことがない」が 49.5%でした（図2）。

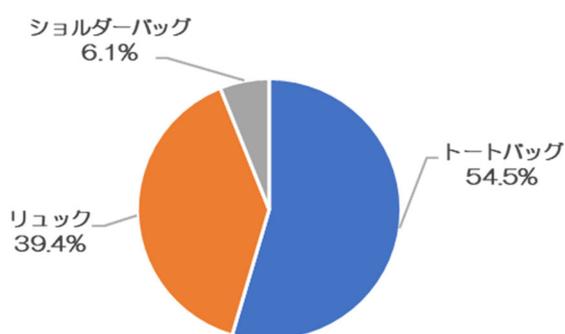


図1.学校へ通う際に最も使うバッグ（N=99）

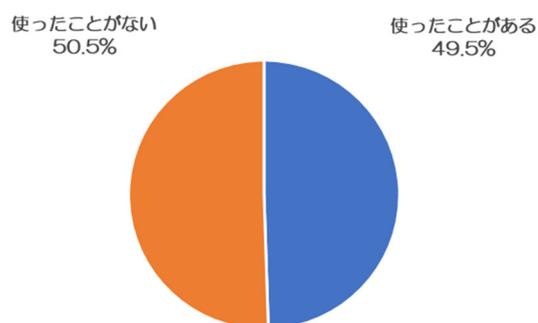


図2.サブバッグ利用の有無（N=99）

(2) バッグとサブバッグの種類の関連性

「学校へ通う際に最も使うバッグの種類」と「学校へ通う際にサブバッグとして使う種類」について質問し、その結果をもとに、普段使っているバッグの種類ごとに利用するサブバッグに違いがあるのかを集計しました。普段使っているバッグがリュックの人は、サブバッグにトートバッグを利用し、普段トートバッグを使っている人はサブバッグとして紙袋を使っている人が多いという傾向がわかりました（図3）。

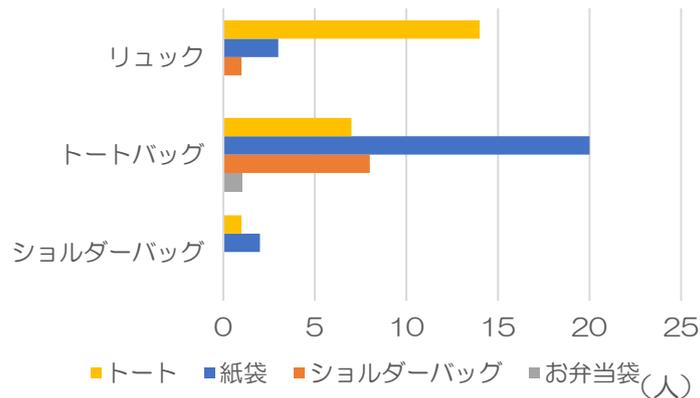


図3. 普段使うバッグの種類別にみたサブバッグの種類

(3) バッグの種類と色の関連性

普段愛用しているバッグの色について調べたところ、バッグの種類が「トートバッグ」の人は「白」が38.9%、続いて「黒」が22.2%と、比較的は何色にも合わせやすい色の割合が高い結果となりました(図4)。「リュック」の人は「黒」が89.7%と圧倒的でした(図5)。「ショルダーバッグ」の人は全体で6人しかいないため、何色が多いと断言はできませんが、「黒」や「ベージュ」など無難な色を選択する人が多いことがわかりました(図6)。

全体的に見ても赤系や緑系などの明るい色を選ぶ人の割合は低く、「白」や「黒」、「ベージュ」等の無難な色を好む人が多い結果となりました。このことはバッグよりも洋服で個性を表している人が多いため、どんな服にも似合うような無難な色が多いのではないかと考えられます(図7)。

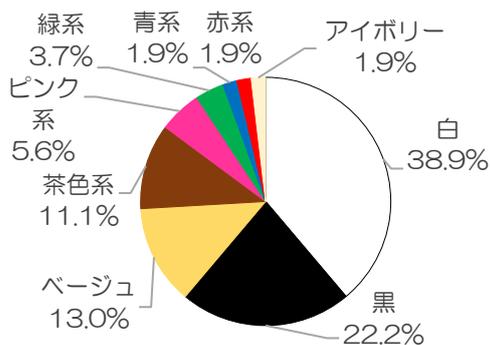


図4. 学校へ通う際に最も使うバッグの色
(a) トートバッグ (N=54)

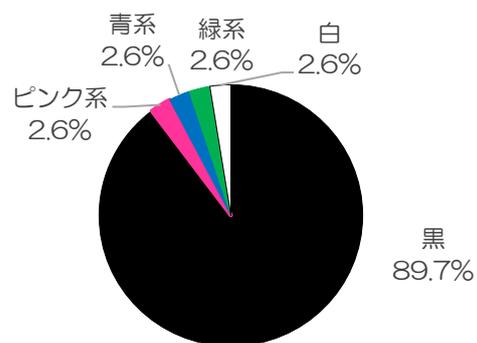


図5. 学校へ通う際に最も使うバッグの色
(b) リュック (N=39)

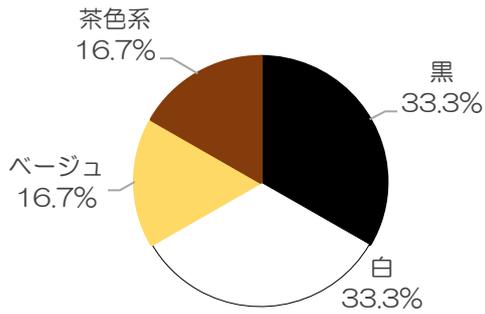


図 6. 学校へ通う際に最も使うバッグの色
(c) ショルダーバッグ (N=6)

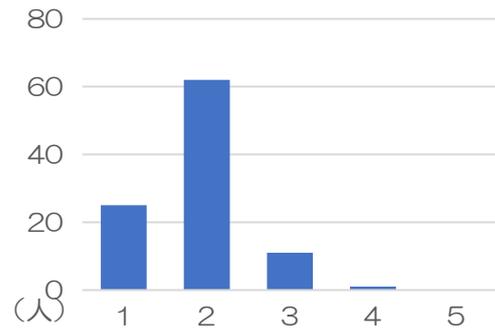


図 7. 個性を表すもの
(1: 洋服 ←→ 5: バッグ) (N=99)

(4) バッグ購入の際には内容量、デザインを重視

バッグを購入する際に重視する点を複数回答で質問したところ、「内容量」を決め手とする人が79人、次いで「デザイン」が71人でした(図11)。その他に多い回答は、値段や使いやすさ、色、機能性という結果でした。

バッグの種類別に見ると、トートバッグは「デザイン」が45人、「内容量」が41人と高く(図8)、リュックは「内容量」が32人と最も高くなっています(図9)。ショルダーバッグは「内容量」が6人、「値段」、「使いやすさ」が5人という結果でした(図10)。



図 8. バッグの購入の際に重視すること
(a) トートバッグ (N=54)



図 9. バッグの購入の際に重視すること
(b) リュック (N=39)



図 10. バッグの購入の際に重視すること
(c) ショルダーバッグ (N=6)

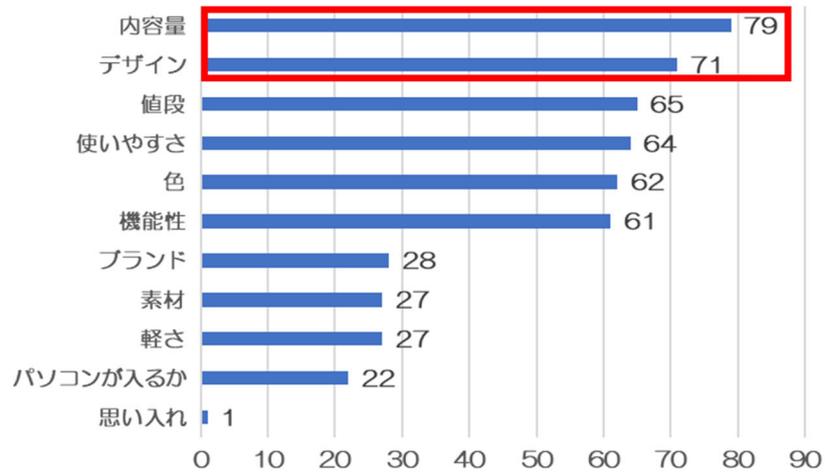


図 11. バッグ購入時に重視すること (N=99)

(5) バッグの種類と値段

バッグの種類別で購入金額が変化するか調査したところ (図 12)、「トートバッグ」の 66.7%が 3,000 円以内で購入していることがわかりました (図 13)。一方、「リュック」「ショルダーバッグ」の購入における値段は安価から高価まで幅広い値段で購入されていることがわかります。(図 14、15)。

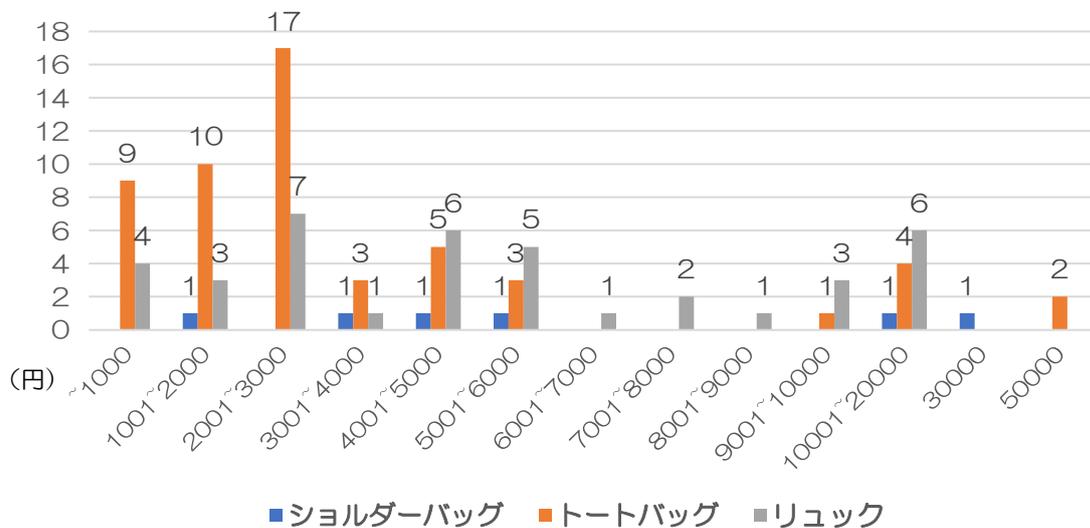


図 12. バッグの種類における値段の比較

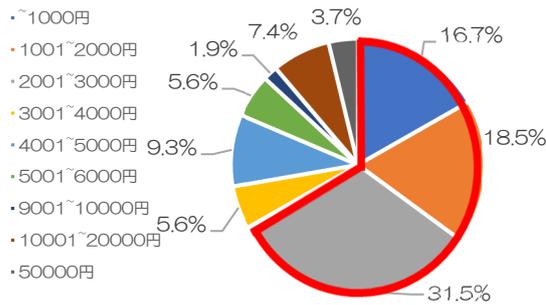


図 13. バッグの種類における値段の比較
(a) トートバッグ (N=54)

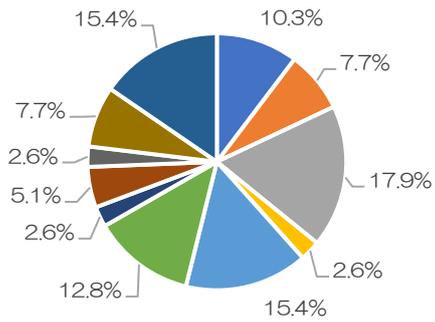


図 14. バッグの種類における値段の比較
(b) リュック (N=39)

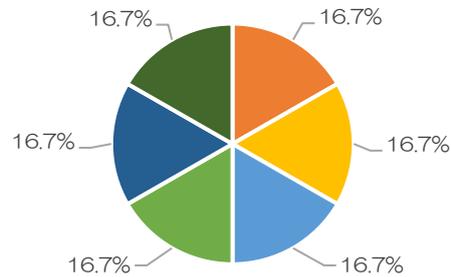


図 15. バッグの種類における値段の比較
(c) ショルダーバッグ (N=6)

(6) バッグを変える人の特性

通学時に日によってバッグを変えるかどうかについて調査したところ、「週2~3日変える」と答えた人が60.6%、「変えない」と答えた人が34.3%、「毎日変えると答えた人」が5.1%という結果になりました（図16）。

バッグを週2~3回変えると答えた人は、「物を買う際に衝動買いをするか？」という質問に対して、「とてもそう思う」「どちらかと言えばそう思う」を選択している人が多くっており、合わせて66.7%です（図17）。日によってバッグを変える人は物を買う際に衝動買いをする傾向があると考えられます。気分によってバッグを変える人が多いことから衝動買いと気分は何らかの関係があると考えられます。

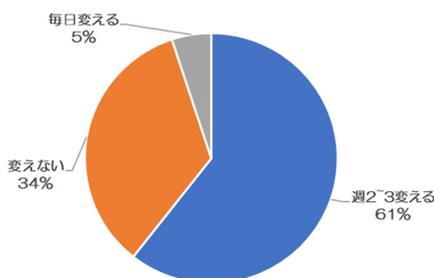


図 16. 日によってバッグを変えるか (N=99)

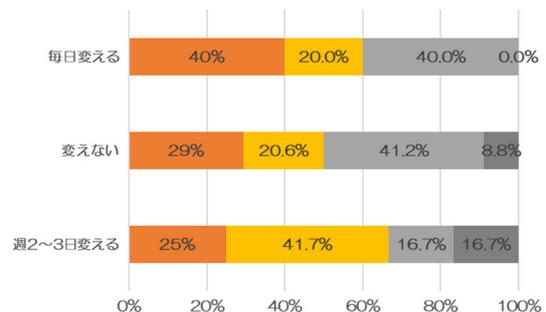


図 17. 物を買う際に衝動買いするか (N=99)

(7) パソコンを持って行かない人は約6割

学校へ通う際のパソコンを持って行く頻度を聞いたところ、58.6%と6割近い人が「持って行かない」と答えました。次いで多いのが「週1回」と答えた人で20.2%、「週2回」と答えた人が12.1%、「週3回」と答えた人が5.1%、「週4回」と答えた人が3.0%、「週6回」と答えた人が1%でした。仮説に反して、パソコンを持って行かない人が多くみられました（図18）。

(4)の図11で示した「バッグを購入する際に重視すること」の質問においても、「パソコンが入るか」を重視する人が22人と少ない結果になりました。全体の約6割の人がそもそもパソコン自体を持って行かないため、通学バッグを購入する際に「パソコンが入るか」を重視する人が少ないのではないかと考えられます。

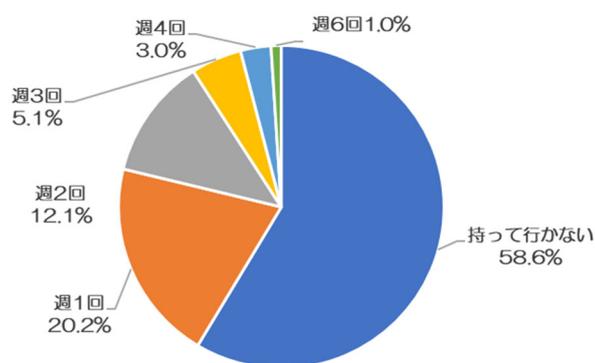


図18. パソコンを持って行く頻度 (N=99)

考察

今回の調査から、実践女子大生は普段通学する際に「トートバッグ」を利用している人が多いことがわかりました。また、サブバッグの利用経験に関しては「使用したことがある」、「使用したことがない」、それぞれ5割という結果になりました。普段「リュック」を使用する人はサブバッグとして「トートバッグ」を併用し、「トートバッグ」を使用する人は「紙袋」を併用する傾向にありました。この結果は、バッグを購入する際に重視することが、全種類において内容量や値段、使いやすさ等が共通点となった一方、トートバッグにおいては著しくデザイン性を重視する割合が高く、種類ごとの重視する点の相違に関係があると考えられます。

バッグの種類と色の関係性は、どの種類を利用しているても白や黒、ベージュ等の無難な色を利用している人が多い傾向にありました。洋服とバッグとでは、自身の個性をより表すものは洋服だと回答する人が多かったことから、バッグの色を無難にすることでどんなコーディネートにも似合うという基準で色を選択している人が多いのではないかと考察することができます。

バッグの種類と値段の関係性は、「トートバッグ」の利用者の約6割が3,000円以内に抑えており、他種類のバッグ利用者に関しては、幅広い価格帯となりました。バッグは消耗品とはいえ、長く利用できるものであるため、より長く愛用できるよう高価な種類を購入する人もいれば、丈夫で尚且つ安価で手に入るものを好む人もいるということでした。

日によってバッグを週2~3回変える人の約6割が自身の購買行動を振り返った際に、衝動買いをすると認識しており、バッグを変える際と衝動買いをする際の心理には何らかの関係性があると考えられます。

パソコンの持ち運びに関して、持っていない人が約6割を占め、パソコンを持ち運ぶためにもリュックを利用する割合が高いという仮説は立証されませんでした。本大学内には、パソコンルームが設置されており、数多くのパソコンを自由に利用することができます。自分で持参しなくても、大学のパソコンを利用することで荷物を減らそうとしているのではないかと思います。

以上の結果から、実践女子大生はトートバッグの利用率が高く、サブバッグの種類はメインバッグの種類に影響があることが判明しました。また、無難な色を選ぶことで服などと合わせやすくし、衝動買いする傾向にある人ほどバッグを日によって変えやすく、パソコンの持ち運びはバッグ選びの際に念頭に置いていないことがわかりました。